



展開例 1

よりよい買物の仕方を考える

[小学中学年 個人向け45分]

ねらい：エシカル消費や身の回りにあるエシカルに関わるマークを知り、自分が買物をすることで世の中が変わることを理解する。

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
① 導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> マークにどんな意味があるのか想像する。 指名された児童は、想像したマークの意味を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「掲示用フリップ」を見せる。 マークから想像した意味を数人に聞く。 想像したマークの意味が、これから見る動画で説明されていることを伝え、児童が動画に興味を持つようにする。 	「掲示用フリップ」 ※付属教材④ <ul style="list-style-type: none"> 国際フェアトレード認証ラベル FSC®認証マーク RSPOマーク MSC「海のエコラベル」
② 展開Ⅰ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> 動画視聴（約14分） 動画を見ながらワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート（動画視聴用） ワークシートを配る。 動画を見ながらワークシートに記入していくことを伝える。  動画の内容に合わせワークシートの記入する箇所を適宜伝えるとよい。 視聴後に動画の内容を振り返りながらワークシートの解答を黒板に示す。（P.19 <ワークシート解答> 参照）  視聴後に、解答例を記入した紙を渡してもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f0f0f0; margin-top: 10px;">ワークシート（動画視聴用）</div>
③ 展開Ⅱ (23分)	<p><ワークショップ>(13分)</p> <p>①「商品POP」が並べられた場所に行き、表面だけ見て興味のある「商品POP」を一枚選ぶ。</p> <p>②「商品POP」の表面だけ見て、「チャレンジマップ」に書かれているカテゴリのどこに該当するか考え、「チャレンジマップ」に鉛筆で印をつける。</p> <p>③「商品POP」の裏面の目隠しを剥がし、②で考えたカテゴリが合っているか確認する。</p> <p>④「商品POP」の両面から情報を読みとり、 発表シート：個人用 を完成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「商品POP」を見せ、使い方を説明する（P.7 ⑥,⑦参照）。加えて「商品POP」が置いてある場所を知らせる。 ワークショップ①（左欄・以下同）に取り組むよう指示する。 「チャレンジマップ」を配布し、説明をする（P.7 ⑧ 参照）。 ワークショップ②に取り組むよう指示する。 ワークショップ③に取り組むよう指示する。 発表シート：個人用 を配布し、ワークショップ④に取り組むよう指示する。 	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;">商品POP</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> チャレンジマップ</div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f0f0f0; margin-top: 10px;">発表シート：個人用</div> <ul style="list-style-type: none"> 「商品POP」 ※付属教材② 教室後方に設けた大きな机の上に、表面を上にして置く。 （「商品POP」裏面にある「答え」のカテゴリは、剥がせるシールなどで目隠しをしておくとよい。） 「チャレンジマップ」 ※付属教材①(A2以上のサイズに印刷) を黒板に貼る テープまたは磁石 （「商品POP」を黒板の「チャレンジマップ」に貼る用） <p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><配布物></p> <ul style="list-style-type: none"> 「チャレンジマップ」 ※付属教材① (A4サイズに印刷)

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
③ 展開Ⅱ (23分)	<p><発表>(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 指名された児童は、 ①自分が選んだ「商品 POP」を、黒板に掲示された「チャレンジマップ」にテープなどで貼る。 ② 発表シート：個人用 に沿って、発表する。 ● 発表を聞き、各自、商品とカテゴリの関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童を数名指名する。 💡 該当するカテゴリが2つある場合は、児童により興味を持った方を選ばせるようにする。 💡 発表を聞きながらポイント「リサイクルできる」、「植林」などのキーワードを黒板に書くとよい。 	
④ まとめ (2分)	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでに学んだことを振り返り、問い合わせに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エシカル消費がどういう意味であったか問い合わせて確認する。 ● 買い物をする時、その商品を選ぶ目安に価格や量だけではなくエシカルを考えることも一つの基準になることを伝える。 ● 学習の習熟度により SDGs について触れる。 	<p><発展学習> テキスト P.3、19 参照</p> <p>「掲示用フリップ」 ※付属教材④</p> <p>●SDGs マーク (全体と No.12 つくる責任、つかう責任)</p>

- ⓐ「チャレンジマップ」 : 「エネルギーを大切に使う」、「途上国の人々の暮らしを支援」など8つのカテゴリが書かれている。
 　　（「商品POP」はこれらのカテゴリの1か所または2か所に該当する）
- ⓑ「商品 POP」 : 表面に商品名、規格、認証マークが書かれており、商品パッケージの表側に相当する。
 　　裏面には「チャレンジマップ」に記載のカテゴリ、認証マークの意味、商品の特徴、SDGs が書かれており、商品パッケージの裏側に相当する。（「商品 POP シート」は表面のみ）
- ⓒ「商品 POP」の使い方 : 表面だけを見て、「チャレンジマップ」の該当するカテゴリを想像する。裏は指示した時に見るよう指導する。



展開例 2

よりよい買物の仕方を考える

[小学中学年 グループ向け45分]

ねらい：エシカル消費や身の回りにあるエシカルに関わるマークを知り、自分が買物をすることで世の中が変わることを理解する。

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
① 導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●マークにどんな意味があるのか想像する。 ●指名された児童は、想像したマークの意味を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「掲示用フリップ」を見せる。 ●マークから想像した意味を数人に聞く。 ●想像したマークの意味が、これから見る動画で説明されていることを伝え、児童が動画に興味を持つようにする。 	「掲示用フリップ」 ※付属教材④ <ul style="list-style-type: none"> ●国際フェアトレード認証ラベル ●FSC®認証マーク ●RSPOマーク ●MSC「海のエコラベル」
② 展開Ⅰ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ●動画視聴（約14分） ●動画を見ながらワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「ワークシート(動画視聴用)」を配る。 ●動画を見ながらワークシートに記入していくことを伝える。 動画の内容に合わせワークシートの記入する箇所を適宜伝えるとよい。 ●視聴後に動画の内容を振り返りながらワークシートの解答を黒板に示す。（P.19 <ワークシート解答> 参照） 視聴後に、解答例を記入した紙を渡してもよい。 	●動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」 <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f0f0f0; margin-top: 10px;">ワークシート(動画視聴用)</div>
③ 展開Ⅱ (23分)	<p><準備>(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●係を決める。 ●カードを選ぶ係「商品POP」を選ぶ ●発表する係：最後に「チャレンジマップ」を使って発表する ●まとめる係：みんなの意見をまとめて付箋に書く、貼る <p><ワークショップ>(15分)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「チャレンジマップ」のカテゴリの中から、自分が関心のあるカテゴリや守りたいカテゴリを考える。その後、班で話し合い、3つのカテゴリに絞り、「チャレンジマップ」に鉛筆で印を付ける。（カテゴリは「その他以外から選ぶ」） ②カードを選ぶ係は「商品POP」が並べられた場所に行き、表面だけ見て、①で決めた各カテゴリのどれに該当するか想像して、計3枚選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●4~5人の班に分かれ、係を決めるよう指示する。 全員が係を持つようにし、特にカードを選ぶ係は1人にならないように2、3名にするとよい。 ●「チャレンジマップ」を配布し、説明をする（P.7 ⑧ 参照）。  チャレンジマップ ●ワークショップ①（左欄・以下同）に取り組むよう指示する。 ●「商品POP」を見せ、使い方を説明する（P.7 ⑨, ⑩ 参照）。加えて「商品POP」が置いてある場所を知らせる。  商品POP ●ワークショップ②に取り組むよう指示する。 各班のカードを選ぶ係全員で取りに行く。 スピードを競わないように注意する。 	●「商品POP」 ※付属教材② を教室後方に設けた大きな机の上に、表面を上にして置く。 （「商品POP」裏面にある「答え」のカテゴリは、剥がせるシールなどで目隠しをしておくとよい。） <hr/> <p><配布物></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「チャレンジマップ」 ※付属教材① （A3サイズで各班に1枚） ●付箋 （5cm 角程度のものを各班に1つ）

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
③ 展開Ⅱ (23分)	<p>③-1 「商品POP」の表面だけ見て、「チャレンジマップ」に書かれているカテゴリのどこに該当するか、班で話し合う。</p> <p>③-2 まとめる係は付箋に「商品POP」の「No.」を書き、該当すると思った「チャレンジマップ」のカテゴリの欄に貼る。</p> <p>④ 裏面の目隠しを剥がし、「商品POP」の③で考えたカテゴリが合っていたかを、全員で確認する。</p> <p>⑤ 「商品POP」の両面から情報を読み取り、  ワークシートに記入する。 ＜発表＞(5分) ● 発表する係が「チャレンジマップ」を持ち、  に沿って、クラス全体に発表する。 ● 発表を聞き、各自、商品とカテゴリの関係を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップ③に取り組むよう指示する。 ● ワークショップ④に取り組むよう指示する。 👉 時間がある場合は、①で選んだ3つのカテゴリすべてに該当する「商品POP」を選ぶことができるまで②～④を繰り返す。 ●  を配布し、ワークショップ⑤に取り組むよう指示する。 👉 ③で選んだ「商品POP」の中から、気に入った「商品POP」を一つ選び、ワークシートに記入するようにする。 👉 発表を聞きながらポイント「リサイクルできる」、「植林」などのキーワードを黒板に書くとよい。 	<p><配布物></p> <p> (人数分用意)</p>
④ まとめ (2分)	●これまでに学んだことを振り返り、問い合わせに答える。	<ul style="list-style-type: none"> ● エシカル消費がどういう意味であったか問い合わせて確認する。 ● 買い物をする時、その商品を選ぶ目安に価格や量だけではなくエシカルを考えることも一つの基準になることを伝える。 ● 学習の習熟度によりSDGsについて触れる。 	<p><発展学習> テキストP.3、19 参照</p> <p>「掲示用フリップ」 ※付属教材④ ● SDGsマーク (全体とNo.12つくる責任、つかう責任)</p>



展開例 3

よりよい買物の仕方を考える

[学童など地域社会向け60分]

ねらい：エシカル消費や身の回りにあるエシカルに関わるマークを知り、自分が買物をすることで世の中が変わることを理解する。

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
① 導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ●マークにどんな意味があるのか想像する。 ●指名された児童は、想像したマークの意味を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「掲示用フリップ」を見せる。 ●マークから想像した意味を数人に聞く。 ●想像したマークの意味が、これから見る動画で説明されていることを伝え、児童が動画に興味を持つようにする。 	<p>「掲示用フリップ」 ※付属教材④</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際フェアトレード認証ラベル ●FSC®認証マーク ●RSPOマーク ●MSC「海のエコラベル」
② 展開Ⅰ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ●動画視聴（約14分） ●動画を見ながらワークシートに記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークシート（動画視聴用） 低学年・地域用 を配る。 ●動画を見ながらワークシートに記入していくことを伝える。 動画の内容に合わせワークシートの記入する箇所を適宜伝えるとよい。 ●視聴後に動画の内容を振り返りながらワークシートの解答を黒板に示す。（P.19 <ワークシート解答> 参照） 視聴後に、解答例を記入した紙を渡してもよい。 	<p>●動画「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに？～」</p> <p>ワークシート（動画視聴用） 低学年・地域用</p>
③ 展開Ⅱ (35分)	<p><準備>(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自己紹介する。 <p><ワークショップ>(25分)</p> <p>①「チャレンジマップ」のカテゴリの中から、自分が関心のあるカテゴリや守りたいカテゴリを考える。その後、班で話し合い、3つのカテゴリに絞り、「チャレンジマップ」に鉛筆で印を付ける。（カテゴリは「その他以外から選ぶ」）</p> <p>②班で話し合い、①で決めたカテゴリのどれに該当するか想像して、「商品POPシート」の中から3つの商品を選び、切り離す。</p> <p>③切り離したカードをテープで①の「チャレンジマップ」の該当するカテゴリの欄に貼る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●各班の中で各自自己紹介するよう指示する。（名前、学年、今買いたいものなど） 4~5人ずつ、異学年が混ざるように、あらかじめ班分けをしておくとよい。 ●「チャレンジマップ」を配布し、説明をする（P.7 ④ 参照） ●ワークショップ①（左欄・以下同）に取り組むよう指示する。 ●「商品POPシート」を見せ、使い方を説明する。 ●ワークショップ②に取り組むよう指示する。 シートから切り離す際、ハサミの使い方を注意する（上級生に下級生のことも見るように指導するといい）。 ●ワークショップ③に取り組むよう指示する。 該当するカテゴリが2つ以上あると児童が考えた場合は、興味を持った方を選ばせるようにする。 ●「商品POP」を見せ、使い方を説明する（P.7 ⑤, ⑥ 参照）。加えて「商品POP」が置いてある場所を知らせる。 	<p>●「商品POP」 ※付属教材②</p> <p>を大きな机の上に、表面を上にして置く。（「商品POP」裏面にある「答え」のカテゴリは、剥がせるシールなどで目隠しをしておくとよい。）</p> <hr/> <p><配布物></p> <ul style="list-style-type: none"> ●「チャレンジマップ」 ※付属教材① (A3以上のサイズに印刷) ●「商品POPシート」 ※付属教材③ (計5枚セットから各班1枚) ●テープ (メンディングテープのように貼り直せるものがよい。各班1個) ●ハサミ (「商品POPシート」にミシン目がない場合)

学習活動		指導者の動き及び留意点	用意するもの
③ 展開Ⅱ (35分)	<p>④「商品POP」が並べられた場所に行き、②で切り離したカードと同じ「商品POP」を選ぶ。</p> <p>⑤席に戻ったら「商品POP」の裏面シールを剥がし、③でカードを貼ったカテゴリが合っていたか確認する。</p> <p><発表>(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「チャレンジマップ」を持って、選んだカテゴリと該当する商品を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ④に取り組むよう指示する。 スピードを競わないように注意する。 ●ワークショップ⑤に取り組むよう指示する。 ●①で選んだ3つのカテゴリすべてに該当する商品を選べるまで②～⑤を繰り返すように伝える。 出来上がった班には発表する人を決めるよう適宜伝える。 ●発表を聞きながらポイント「リサイクルできる」「植林」などのキーワードを黒板に書くとよい。 	
④ まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでに学んだことを振り返り、問い合わせに答える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●エシカル消費がどういう意味であったか問い合わせて確認する。 	